

職員による自己評価

A環境面

- ・毎日の換気や清掃、消毒を行い清潔な環境に気をつけている。
- ・子どもたちが安全に楽しく活動できる環境づくりを心がけている。

B児童への支援内容

- ・職員間のミーティングで検討を重ね、一人ひとりに合った支援が出来るように日々話し合いを行っている。
- ・様々な体験活動を取り入れ、また子どもたちの意見を尊重しながら楽しめるようにしている。

C関係機関との連携

- ・送迎時に学校での様子など情報共有を行っている。
- ・関係機関と情報交換・共有しながら連携を図っている。

D保護者への説明責任・信頼関係

- ・送迎時や連絡帳、電話などでその日の様子を細かく共有している。

E非常対応

- ・年に2回以上の避難訓練の実施や内部研修を定期的に行っている。

保護者による評価

A環境面

- ・活動スペースは十分確保されている。

B児童への支援内容

- ・必要な支援がわかりやすく設定されている。
- ・毎回活動プログラムが工夫されていて子どもが楽しめている。

C事業所からの情報発信

- ・SNS (Facebook) やなないろ通信で日々の活動様子が確認できる。
- ・電話や連絡帳、送迎時での共有ができています。

D非常対応

- ・災害時の避難場所や対応方法の説明がある。
- ・災害時の避難方法を学ぶことで見通しが持てるようになってきている。

事業所内での分析

【共通点】

- ・日々の様子や活動内容についてわかりやすく説明し情報共有できている。
- ・一人ひとりにあった支援プログラムを行っている。
- ・日々の様子を連絡帳や帰り送迎時に共有できている。

【相違点】

- ・放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会が分からないという意見が多くある。
- ⇒外出レクリエーション時に地域の子供たちと交流する場や、地域の方々と触れ合う機会がある。

## 分析・検討してみても…

### 事業所の強み

- ・事業所環境面において、安全対策及び支援教材等が整った中で、利用者様が支援を受けることが出来る。
- ・保護者様とのコミュニケーションを取りながら情報共有し、一人ひとりに寄り添った支援を行っている。
- ・室内活動と屋外活動を取り入れて情緒の安定を保ちながら活動設定をしている。

### 事業所の改善点

- ・各関係機関との交流を深め情報収集を強化していく。
- ・地域のイベントに参加し、地域との交流をより深めていく。

### 事業所の改善への取り組み

- ・外部研修等の機会をさらに増やしていき支援の質の向上に努める。
- ・支援内容が固定化しないよう情報交換や見直しを行う。
- ・周辺地域のイベントに参加していく。

### ～自己評価を行っての事業所としての感想など～

皆様から貴重なご意見をいただき誠にありがとうございます。  
「安心して通わせることができる」「楽しんで通っている」と意見を多くいただきました。  
今後も子どもたちが安心して楽しく過ごせる場所の環境づくりや信頼度、満足度を向上出来るよう努めていきます。  
今後ともよろしく願いいたします。